Vol.5
ROKKO NEWS
http://www.rokkorugby.com
特定非営利活動法人
六甲クラブ
2011年シーズン開幕号

日本一奪回へ 激勝発進

鎌田崇史新主将のもと、日本一奪回へ向けて六甲ファイティングブルの２０１１年シーズンがスタートした。９月25日、大阪市の鶴見緑地球技場で行われた関西クラブトップリーグ開幕戦で、六甲ＦＢは芦屋クラブにやや手こずりながらも31―12と快勝。年末から始まる全国大会（12月25日～熊谷、決勝は12年１月29日・秩父宮）に向け好スタートを切った。

次に繋がる負けはない。負けて出来るのは言い訳だけ。
勝負事は勝つ事に意味がある。勝たなければ意味が無い。

関西ＴＣＬ第一戦 VS 芦屋クラブ（９月25日・鶴見緑地球技場）

リーグ初戦特有の緊張感からくるぎこちなさか、挑戦者の勢いか―。

開始早々の４分、六甲はいとも簡単に先制トライを奪われてしまう。６月に行われた【前哨戦】の「兵庫県選手権」（６／17、神戸ユニバ競技場）で17―０と接戦を演じた芦屋クラブのこの一戦にかける執念は凄まじく、会場は大いに沸いた。

「慌てる必要はない。もう一度ここからキックオフだ」と、鎌田主将はインゴールの円陣ですぐさま軌道修正。浮き足立つチームの雰囲気を落ち着かせる。

自慢のスクラムで圧倒、強力ＦＷがしっかり体を当てて敵陣に入り有利に試合を展開する。前半13分。やや反則気味の芦屋ディフェンスをものともせず、ＨＯ小西が右隅に飛び込みトライ。ＣＴＢ外村のゴールも決まり７―７の同点。神戸製鋼から今季加入した新戦力の『名刺代わりのトライ』で六甲ＦＢは反撃ののろしをあげた。

「今日はＨＯということもあり、サポートやポジショニングに重点を置きました」（小西）。随所にトップリーグ仕込のプレーが目立った。

六甲ファイティングブル

芦屋クラブ	1	7	T
	0	5	TG後
	12	計	31

六甲FB	14	7	前
	7	0	TG
	21	12	計

芦屋クラブ 12 ― 31 六甲FB（17―5、14―7）

続く26分にはどっしりした下半身が魅力のＣＴＢ外村が中央突破、タックルを交わしてゴールポスト真下にトライ。ゴールも決まり14―７。落ち着いて試合を見られる展開とした。

ここからしばらくは、六甲にとって我慢の展開となった。芦屋のスタミナを奪おうと、ＦＷは接近戦にこだわりをみせ、ＢＫで簡単にトライを取れる場面でも持ち込んでしまうなど、少しチグハグな場面もみられた。また芦屋のディフェンスの鋭さもあり、前半を14―７で終えた。

後半、六甲最大のピンチが訪れた。ＨＯからＰＲに変わった小西がスクラムを押しすぎ左足ふくらはぎに違和感を覚え、大事を取って離脱。ＦＢ中西がカウンターからの激しい接触プレーで骨折退場。ゲームコントロールに長けた２人の負傷交代で、チームは緊迫としたムードに。さらに渾身のタックルを繰り返していたＣＴＢ田部の出血治療にも時間がかかり、逆に芦屋は元気を取り戻し果敢に攻め立ててきた。

このピンチを救ったのが、舛尾・由良のベテランコンビだった。後半から出場した由良は、持ち前の巧みなキックで陣地を回復し、ゆっくりと時間を使う。この日はNo.８に入った舛尾も、球際でお手本になるような泥臭いプレーでターンオーバーを連発した。

ピンチの後には必ずチャンスが訪れる。新加入のＷＴＢ渡辺が、状況判断良く芦屋ＤＦの裏にキック。誰もいないインゴールに転がったボールを飛び込んで抑え19―７。これに負けじと、途中出場のＦＢ高山もタックルの甘くなった芦屋ＤＦ２人を振り切り、ライン際を40メートル激走トライ、24―７。最後はＦＷラッシュで防御が甘くなったところをＳＯ由良がシメのトライ。ゴールも決まり31―７。最後に芦屋の執念で１トライを返されたものの、31―12で初戦を飾った。

「収穫？勝てたことぐらいですかね。」と鎌田主将は手首のテーピングを外しながら不満を口にした。「最初と最後、簡単にトライを取られたことがダメ。選手の意識もまだまだ薄い。このままじゃ日本一になれません」と顔をしかめた。

今年の１月、連覇を期して臨んだ全国大会準決勝で、タマリバに敗れた。万全の状態であったはずなのに、気迫負け、不完全燃焼でシーズンが終わってしまった。

「（昨年は）どこかしら、自分たちに慢心があったと思う。今季は『ＡＬＬ ＯＵＴ』をスローガンに持ってる力を全て出し切りたい。自分達の『弱さ』にチャレンジしたい」と語るスキッパーからしてみれば、この試合内容は到底満足できるものではない。「まだ日本一になれない」というのは、チームの伸び代が無限にあるからこその自分たちへの戒めだろう。

主力にケガ人が続出して厳しいシーズンとなる。しかし、今季は新しい力も多く加わった。ベテラン勢も自分の経験を後に残そうと体を張る。世代を超えた力が一つになった時、このチームは想像もできないパワーを発揮するはずだ。

日本一奪回へ、日本選手権へ―。

六甲ファイティングブル、今はただ走り抜けるのだ。

スポーツ振興くじ助成事業
totoo

走り抜けろ！六甲ファイティングブル

六甲レッドウイングス、今年も白星街道ばく進中！

兵庫県Ａリーグに所属する「六甲レッドウイングス」が今年も絶好調だ！10月６日の開幕戦ではノンベーズに６７―０、16日の栗の木ブラザーズ戦では79―０と白星街道をばく進している。

20歳から54歳まで世代を超えて「楽しく強い六甲ラグビー」を展開するのがチームコンセプト。若手選手に引っ張られるように、オッサン選手も奮闘。相乗効果となって、クラブにいい刺激を与えている。

◀六甲ＦＢ・日本選手権への道のり

日本選手権１回戦	（2月25日・駒沢陸上競技場）
↑	
全国クラブ大会決勝	（1月29日・秩父宮ラグビー場）
↑	
全国クラブ大会準決勝	（1月8日・熊谷ラグビー場）
↑	
全国クラブ大会１回戦	（12月25日・熊谷ラグビー場）
↑	
関西ＴＣＬ・vs 名古屋クラブ	（11月27日・瑞穂ラグビー場）
↑	
関西ＴＣＬ・vs 交野クラブ	（10月30日・太子町）

新主将・鎌田 崇史 FL

←鎌田

いつも暖かいご声援ありがとうございます。芦屋戦は、試合の入り方が緩くて、選手によってはまだまだ自分にチャレンジしてない奴が多かったです。ケガ人が多く出てしまったのも痛手でした。

リーグ戦残り２試合は良くも悪くも色々試せる場と思っているので、全国大会にいい意味でつなげられるようにしていきたいです。

まだまだ日本一にはふさわしくないが、爆発したら面白いチームになります。選手一人一人の気持ちを一つに向けられるように、頑張ります。今後とも変わらぬご声援をお願い致します。

国体近畿ブロック予選突破！「第66回おいでませ！山口国体」出場！

六甲クラブの兵庫県在住・勤務選手を中心に編成された「国体兵庫代表」は８月末に神戸で行われた近畿ブロック大会で初戦の奈良県に28―０、決定戦の京都府に24―12と勝利し、近畿代表として「第66回おいでませ！山口国体」に出場した。

代表決定戦の京都府は社会人のレッドエボリューションズ。激戦となったが、兵庫代表は自慢のスクラムで圧倒、本選切符を手に入れた。

10月２日の国体本選では、１回戦で関東社会人連合の東京都と激突、No.８板垣の突進などで、トライ数では上回ったものの、21―23とわずか２点差で涙をのんだ。

監督兼選手として出場した東田ＧＭは「風上に立った後半に逆転するプランの展開だったが、要所での反則が響いてしまった。強敵と接戦をえんじたことから自信につながる部分もあったので、これを六甲に持ち帰って糧としたい」とコメント。東京都はその後決勝に進出したことなどから、兵庫県には悔しさつのる敗戦となった。

結局、兵庫県は６日の順位決定戦で10―24と秋田県に破れ７位となった。

なお、予選・本選に出場した六甲クラブの選手・スタッフは以下の通り

東田哲也、北迫孝治、安田昇、島田啓文、田村和也、西田章一郎、舛尾敬一郎、湯井一義、幸野渉、板垣武志、後藤大輝、由良康美、井口仁、加島諒典、竹内茂芳、内山将文、野中壮太、本田京子、狩野達朗（トレーナー）山崎秀子、吉田未来子（マネージャー）

◆サポーター募集のお知らせ

六甲ファイティングブルではサポーター募集をしています。クラブの活動を行うためには、何よりも実際に活動するクラブ会員一人ひとりの熱意が大切ですが、併せて、熱意を行動に移すための財政基盤をより強固なものにすることも必要となります。できるだけ多くの方々からご支援いただき、それに応えられるクラブチームとなるようクラブ一丸となって取り組んで参りますので、何卒ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

◀サポーターの年会費と特典内容

個人後援会員	団体・法人会員	ユニフォームロゴ・スポンサー
年間会費　2,000円	年間会費　1口10,000円（原則2口以上）	年間50,000円～（要相談）（原則2年契約）
予定している特典 ・会報の送付 ・試合、行事などの案内 ・ファンの集いの案内、優待など	予定している特典 ・試合、行事などの案内 ・後援企業(団体)交流会 ・企業(団体)広告の掲載 ・ファンの集いの案内、優待など	予定している特典 ・ジャージー・パンツなどにロゴ ・団体、法人会員と同等の特典 ※詳しくはお問い合わせください。

プレーヤー・サポーターも募集しています！

お問い合わせ先：

特定非営利活動法人 六甲クラブ サポーター会員募集事務局（担当：山崎秀子）
お問い合せはEメールにてお願い致します。e-mail:rokkoclub@hct.zaq.ne.jp　FAX:079-243-1156

HPからお申し込みください。　http://www.rokkorugby.com